

地域産業復旧復興支援事業 黒石商店街協同組合(青森県)



「宮古復興うまいもの市」

【事業目的】

当黒石市と姉妹都市である岩手県宮古市の海産物の販路拡大を目的とする。この事業を通して、黒石の主要なイベントである「黒石こみせまつり」の開催時に協同組合宮古市魚菜市場の組合員を招き、黒石市近隣から集まるお客様に対して宮古市の海産物を広くPRし、販路拡大につなげる。また、黒石の観光拠点でもある「こみせ通り」に位置する「津軽こみせ駅」という観光物産館において、これまでも宮古市の海産物等（主に乾物）を常設で販売しているが、PR不足もあり、あまり知られていないため、併せて「津軽こみせ駅」のPRと宮古市の海産物の新たな取引先の開拓を目指す。

【事業実施状況・成果】

「黒石こみせまつり」
期日：平成25年9月14日～15日
場所：黒石市中町・前町・横町
来場者数：約6,000人（2日間）

海産物目当てで来場した方が多く、宮古市の海産物の魅力とある程度のチラシの効果を実感した。

また、宮古市魚菜市場内の各商店に直接注文できるタイプの製品パンフレットを作成し、黒石市役所をはじめ、黒石商工会議所、黒石観光協会、津軽こみせ駅、黒石商店街協同組合組合員の各店や準加盟店等に設置した。この製品パンフレットを利用することにより、季節を問わず気軽に宮古市の海産物を購入できる環境となった。また、各種会合等においても製品パンフレットを広く配布し、宮古市の海産物のPRに努めた。

【今後予想される事業効果】

今回実施した「宮古復興うまいもの市」によって、黒石市民のみならず近隣市町村の方々に対しても宮古市の本場の海産物を味わっていただくことができた。これによって、宮古市の海産物のファンがまた増えた。そして、この度作成した製品パンフレットを利用することによって、四季を問わず、宮古市の海産物を直接購入できる環境となったため、宮古市の海産物の売上が増加し、復興の一助となる。さらに、宮古市の海産物に対する注文が増加することによって、「津軽こみせ駅」における品揃えも豊富となり、今後は宮古市の方が頻繁に黒石へ来て、お客様や新たな取引先と接する機会が増え、ますますつながりが強くなっていく。